

## 平成30年度 学校経営計画

## 1 本校の教育目標

「豊かな心をもち、自ら学ぶ意欲と実践力のある子どもを育てる」

(1) 豊かな心をもつ子ども (2) 進んで学ぶ子ども (3) たくましい子ども

## 2 めざす子どもの姿

＜豊かな心をもつ子ども＞

- ・学級や学年を越えたかかわりの中で、互いの良さを認めたり協力して活動したりできる子ども
- ・地域の人とかかわりながら、地域を知り、その良さに気づき、地域を大切にしようとする子ども

＜進んで学ぶ子ども＞

- ・課題を意識して、よく考えて、かかわり合いながら学びを深めようとする子ども
- ・学習の約束を守り、家庭でもしっかりと学習する子ども

＜たくましい子ども＞

- ・基本的な生活習慣を身につけ、心身ともに健康な生活ができる子ども
- ・目標を持って進んで運動し、体と心を鍛える子ども

## 3 めざす教師の姿

「一人ひとりの子どもを大切に、温かな思いで支え続ける教師」

- ・どの子にも寄り添い、個に応じて丁寧に支援する教師
- ・子どもとともに考え、互いに学び合う教師
- ・一人ひとりの子どもの良さに気づかせる教師

## 4 学校経営の重点と具体策

## (1) 豊かな心をもつ子どもを育むために

## ① 学年・学級経営

- ・学年担任の意識を持ち、チームで情報を共有し個々の児童に組織的対応を心がける。一部教科担任制や合同授業、TT指導などを積極的に取り入れる。
- ・家庭との連携（良さを伝え、課題には早目の連絡、相談）
- ・安心できる学級・学年づくり（歌ったり、思いを述べたり…）

## ② かかわりを大切に活動

- ・鈴っ子なかよし班活動の継続による異学年交流の推進
- ・ボランティアや奉仕活動などの体験活動を通じた学びの充実

## ③ 地域との交流

- ・学びを通じた郷土愛の醸成。（地域を学ぶ、地域とかかわる、地域に発信）
- ・総合的な学習 ・クラブ活動 ・児童会活動 ・山家田植え踊り ・吹奏楽部活動

## ④ 教育支援

- ・特別支援教育の考えを生かした学習指導、生徒指導の推進
- ・個別の支援計画をもとにした支援計画の共通理解と組織的対応（特別支援委員会）
- ・丁寧な面談を通じた保護者との信頼関係、協力関係の構築

## (2) 進んで学ぶ子どもを育むために

## ① わかる喜び、できる自信を感じる授業

- ・基礎基本の定着と活用力を高める授業づくり（テストの結果、分析を指導に生かす）
- ・家庭学習の習慣化と内容の充実 ・学びの成果・課題を実感させる振り返り

## ② 校内研究の推進

- ・主体的、対話的で深い学びを求めて
- ・授業研究や研修の機会を持ち、学んだことを日常に生かすことを意識する。

## ③ 英語教育の充実

- ・次期指導要領への移行を見据えた指導内容の確実な実施と指導体制及び指導法の検討

## ④ 読書活動の充実

- ・朝読書、読み聞かせの継続と次年度以降の検討

## ⑤ 情報教育の充実

- ・ネットモラル指導の徹底

## (3) たくましい子どもを育むために

## ① 「いのち」の教育の推進

- ・交通安全教室や個人登校の実施と安全意識、行動力の向上
- ・緊急時の対応マニュアルの徹底と職員の防災訓練の実施

## ② 教科体育を核とした体力・運動能力向上の取り組み

- ・できる喜びを味わい、元気いっぱい体を動かす子どもを育てる体育授業の実践
- ・運動の日常化の取り組み、外遊びの奨励、体力・運動能力の向上を図る取り組み

## ③ 校内外の生活指導の充実

- ・基本的な生活習慣の確立（早寝早起き、あいさつと返事、言葉づかひ…）とPTAとの連携
- ・規範意識の向上（時間を守る、廊下歩行、集団行動…）、児童会と連携した活動